

いずみさの
教 育



問合先
学校教育課

しっかりと学び、守ろう命

新年度に入り、新しい友人ができて交友関係が広がり、もうすぐ子どもたちが待ちに待った夏休みです。夏休みには、「友人と何をして遊ぼう」「家族で海へ行きたい」など楽しいことがたくさんある一方、交通事故に巻き込まれ、大きなケガを負ってしまうといった悲しい出来事も少なくありません。平成30年度の子どもが関わる事故件数は、大阪府内で1,235件発生しています。その中で、命を落とす事故も2件発生しています。

市内の小学校では、このような悲しい事故に巻き込まれないように、「交通安全教室」を実施しています。小学生になると、登下校など子どもたちだけで行動する機会が増え、交通事故に遭う危険も高まります。子どもたちを交通事故から守るため、泉佐野警察交通課から講師を招き、安全な歩行や自転車の乗り方について次のような注意点を、優しく丁寧に子どもと向き合いながら

説明していただいています。

【歩行者の注意点】

- 歩行者は道路の右側を歩く。
- 止まれの標識のあるところでは、一度止まり左右を確認する。

【自転車の乗り方】

- 道路の左側を走行する。
- 歩道上に障害物があり走行できない時は、左右を確認し車道に出る。

市内では、小・中学校の登下校時には、たくさんの保護者や地域の人の協力で、子どもたちが安全に登下校できるように見守り活動をしていただいています。小・中学生が安全で、元気に登下校できるよう、9月以降にも行う「交通安全教室」で子どもたちに交通ルールを伝えていきます。また、交通事故に巻き込まれることがないように、子どもたち自身が危険を予測して、自分の身を守るよう、学校を通じて日ごろから呼びかけていきます。



学校園紹介



あいさつ・そうじ・はきもの
～第一小学校～

本校では児童朝礼などで「あいさつ・そうじ・はきもの」について話をしています。

「あいさつ」や「そうじ」についてはこれまでも児童会や委員会が中心になって取り組んできましたが、今年度は「はきもの」について保健委員会がトイレのスリッパをそろえる運動に取り組んでいます。これは保健委員会のメンバーがそろえるのではなく、トイレを使った後はそろえるよう児童朝礼などで呼びかけ、そろい具合を点検する運動です。日によっては乱れている時もありますが、呼びかけることにより、かなり改善されてきています。

小さい頃にできていたことが、成長するにしたがっておろそかになっていくことがいろいろあるかもしれませんが、一声掛けることで気付き、改める素直な気持ちに嬉しさを感じます。

学校としても粘り強く取組を続け、子どもたちが、人として最も基本的なことを当たり前ができるようめざしていきます。



◀ある日の掃除風景

児童朝礼での保健委員会からの連絡▶



自ら考え主体的に行動できる生徒
～日根野中学校～

本校ではめざす生徒の姿として、「科学的なものの見方・考え方に立ち、自ら学び、考え、主体的に行動できる生徒（自立）」「友愛を重んじ、互いに高め合い、人権を尊ぶ生徒（敬愛）」「勤労を愛し、責任感の強い生徒（誠実）」の3つを教育目標に掲げ、日々の教育活動を推進しています。

1学期は生徒会執行部と各種委員会が連携して登校時の「あいさつ運動」に取り組みました。「気持ちよいあいさつの効用」について、全校集会で寸劇によるアピールを行い、「相手の目を見て」「大きな声で」「笑顔で」あいさつを交わすことを心がけています。その効果もあり、来校された人からは「日根野中の生徒はよくあいさつをしてくれますね」と声をかけていただきました。



2年生では「日根荘フィールドワーク」に取り組み、本年度「日本遺産」にも登録された地域の文化遺産を訪問し、「レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの」の学芸員さんや地域の人のお話をうかがいました。改めて地域の歴史について学び、お話をしてくださった人の思いをしっかりと受け止めることで、自分たちの暮らす地域をさらに素晴らしいものとするために、何が出来るか考えるよい機会となりました。

また、昨年度より取り掛かっていたプールの解体工事も終了しました。跡地については、一部小学校の運動場を拡張したほか、放課後にクラブ活動ができるよう整備し、子どもたちが練習で気持ちのよい汗を流すことができています。

